

## 令和3・4年度複合構造委員会 第1回委員会 議事録

1. 日 時：令和3年6月23日（水）14：00～17：10

2. 場 所：土木学会講堂およびオンライン

3. 出席者：(敬称略)

<土木学会講堂>三浦顧問，三ツ木顧問，松本委員長，齋藤幹事長，古市委員，溝江委員，大久保幹事，山本幹事

<オンライン>上田顧問，中島顧問，中村(俊一)顧問，牧副委員長，秋元委員，新井委員，池田委員，岩立委員，大垣委員，大西委員，奥井委員，木田委員，栗橋委員，小森委員，島委員，下村委員，杉浦委員，鈴木委員，高嶋委員，瀧本委員，谷口委員，趙委員，中村(光)委員，西崎委員，橋本委員，長谷川委員，畑委員，藤山委員，松村委員，松本(幸大)委員，茂呂委員，横田委員，吉川委員，吉武委員，渡辺委員，北根幹事，櫻庭幹事，塩畑幹事，平幹事，内藤幹事，中村(一史)幹事，橋本幹事，皆田幹事（合計51名）

4. 配布資料：

- 委1-0 令和3・4年度 第1回複合構造委員会 議事次第
- 委1-1 令和3・4年度 複合構造委員会 委員名簿
- 委1-2 令和1・2年度 第4回複合構造委員会 議事録（案）
- 委1-3-1 令和1・2年度 第11回複合構造委員会幹事会 議事録
- 委1-3-2 令和3・4年度 第1回複合構造委員会幹事会 議事録（案）
- 委1-4-1 令和3・4年度複合構造委員会組織図
- 委1-4-2 常設小委員会および第一種小委員の委員の変更・追加
- 委1-5 令和3年度委員会スケジュール案
- 委1-6-1 令和3年度重点研究課題（研究助成金）の選考結果
- 委1-6-2 令和3年度重点研究課題（研究助成金）の選考結果・別紙資料
- 委1-7 土木構造物の300年暴露プロジェクト小委員会 設立趣意書
- 委1-8-1 令和2年度委員会決算
- 委1-8-2 令和3年度委員会予算（案）
- 委1-9 令和2年度委員会活動度評価結果
- 委1-10-1 令和1年度年次学術講演会（共通セッション）
- 委1-10-2 土木学会全国大会 研究討論会
- 委1-11 第14回複合・合成構造の活用に関するシンポジウム
- 委1-12 土木学会論文集A1 特集号：複合構造
- 委1-13 複合構造の継続教育
- 委1-14 出版関連報告
- 委1-15 複合構造委員会小委員会一覧

- 委 1-16 H101 複合構造標準示方書小委員会
- 委 1-17 H215 複合構造におけるコンクリートの収縮・クリープの影響に関する研究小委員会
- 委 1-18 H216 複合構造物の構造検査と性能評価に関する研究小委員会
- 委 1-19 H218 FRP 複合構造の設計・維持管理に関する調査研究小委員会
- 委 1-20 H219 床版取替における既設合成桁橋の設計・施工技術に関する研究小委員会
- 委 1-21 H220 グリーングレーハイブリッドインフラの評価に関する研究小委員会
- 委 1-22 新規小委員会の設立に関する意見募集

## 5. 議事内容：

### (1) 委員長挨拶

松本委員長より挨拶があった。

### (2) 自己紹介（新任委員）

- ✓ 委員会名簿の記載内容について修正等が必要な場合は齋藤幹事に連絡することとなった。
- ✓ 新任の委員から挨拶があった。

山本委員兼幹事，秋本委員，新井委員，岩立委員，木田委員，栗橋委員，長谷川委員，樋原委員，松村委員，茂呂委員，吉川委員，吉武委員（敬称略）

### (3) 第 4 回委員会（令和 1・2 年度）議事録案確認

桜庭幹事より，令和 3 年 1 月 22 日に行われた第 4 回委員会（令和 1・2 年度）議事録（案）の確認が行われ，修正はなく承認された。

### (4) 第 11 回幹事会（令和 1・2 年度），第 1 回幹事会（令和 3・4 年度）議事録確認

齋藤幹事より，令和 3 年 3 月 5 日に行われた第 11 回幹事会（令和 1・2 年度）議事録，令和 3 年 5 月 19 日に行われた第 1 回幹事会（令和 3・4 年度）議事録（案）の概要説明が行われた。

### (5) 令和 3・4 年度複合構造委員会体制他

齋藤幹事より，令和 3・4 年度の複合構造委員会の 6 月時点の組織について説明があった。

### (6) 常設小委員会の委員の変更・追加

齋藤幹事より，常設小委員会および第一種小委員会の委員の変更・追加について説明があった。また，各研究小委員会の報告会，セミナー，土木学会賞のスケジュールについて説明があった。

これに対し，下記の連絡があった。

- ✓ 12 月 17 日に予定している第 2 回複合構造委員会の日程と構造工学委員会の日程が重なっている。
- ✓ プレハブプレキャスト研究小委員会の討論会は 9 月 6 日，複合構造の共通セッションは 9 月 10 日で確定している。

## 【審議事項】

- (7) 令和3年度重点研究課題の選考結果と「土木構造物の300年暴露プロジェクト小委員会」の設置について

齋藤幹事長より、2021年度重点研究課題（研究助成金）の審査結果について説明があり、複合構造委員会から提案した、研究課題名：300年の超長期暴露を目指した土木構造物の持続性に関する研究が採択されたことが紹介された。

また、大久保幹事より、土木構造物の300年暴露プロジェクト小委員会（第一種小委員会H108）の設立趣意書について説明があった。

松本委員長から、平成24年度の重点研究課題として実施した「土木構造物の持続性を考慮した300年プロジェクトに関する研究」の後続研究であることの補足説明がなされた。

本小委員会への参画を希望される方は大久保幹事まで連絡することとなった。

下記の意見および質問があり、小委員会の設立について承認された。

（意見）再び重点研究課題として取り組むことになったのは喜ばしい。ぜひ、成果を期待したい。

（質問）300年間の暴露試験場所の見通しはたっているのか。

（回答）候補はあるが、これからの検討事項である。

- (8) 令和2年度委員会決算と令和3年度委員会予算（案）

齋藤幹事長より、令和2年度委員会決算と令和3年度委員会予算（案）について説明があった。

（質問）金額確定後にどのように承認するのか。

（回答）金額確定後には改めてメール配信して意見を伺う。

- (9) その他

特になし。

## 【報告事項】

- (10) 令和2年度委員会活動度評価結果

齋藤幹事長より、令和2年度委員会活動度評価結果についてBランクであったことが報告された。

- (11) 令和3年度全国大会（共通セッション・研究討論会）

齋藤幹事長より、全国大会でのCS6複合構造物のプログラム編成について説明があり、26編の応募があったことの報告がなされた。

平幹事より、全国大会でプレハブプレキャスト工法有効利用に関する調査研究小委員会にて研究討論会を計画している内容について報告があった。

内藤幹事より、研究討論会での話題提供者が、松本高志/北海道大学、趙唯堅/浙江大学、田所敏弥/鉄道総合技術研究所、安保知紀/鉄建建設、塩畑英俊/東日本高速道路（敬称略、5名）に決定したことが報告された。

(12) 第 14 回複合・合成構造の活用に関するシンポジウム

齋藤幹事長より、第 14 回複合・合成構造の活用に関するシンポジウムについて、開催日程などについて説明があった。

牧副委員長より、63 件（土木 33 件、建築 30 件）の応募があったこと、原稿の締め切りが 9 月 10 日となっていること、これから特別講演の講演者を選定することについて説明があった。

(13) 土木学会論文集 A1 特集号：複合構造

橋本幹事より、土木学会論文集 A1 特集号（複合構造論文集）について報告があり、第 8 号において招待論文 2 編、一般論文 2 編、小委員会報告 1 編の合計 5 編を 5 月末に公開していること、第 5 期の体制および進め方について説明があった。

(14) 複合構造の継続教育

中村幹事より、複合構造の継続教育小委員会について、委員構成、これまでのセミナーの開催状況と本年度の開催計画（12 月 14 日を予定）について報告があった。

（質問）継続教育は重要だと考えている。3 種類の実施形式となっているが、それぞれの位置づけや教育対象者を分けるなど、全体的なコンセプトはあるのか？

（回答）講演形式だけでなく、講義形式のセミナーを企画したものである。その中、講義については講義内容を変化させようとするものである。

（要望）講義形式をこれまでの四谷に集まるという概念にとらわれず、オンラインも活用した距離のハンデキャップを無くした方法も検討して頂きたい。

(15) 出版関係報告

桜庭幹事より、複合構造委員会の 5 月末時点の出版物販売状況について説明があった。

(16) 小委員会報告

H101 複合構造標準示方書小委員会

持続可能な示方書を目指して改訂作業を進めており、本示方書は土木学会で同時期に改訂する他の示方書の状況や、構造工学委員会が担当している示方書連絡会議で議論が進んでいる原則論も踏まえ、学会示方書のスタンダードとなるように改訂を図りたいと考えていることが報告された。

（質問）他の示方書では土木共通示方書の原則論に対してポジティブな活動がなされているのか。

（回答）学会内の示方書のアンブレラ的な役割の示方書共通化 WG が組織され、学会内の示方書を束ねる役目を果たしている。また、次期土木共通示方書の改訂では、学会内の示方書を束ねる活動を目指している。

（意見）土木の中でも鉄道や道路の構造の違いや、道路の中でも橋梁やトンネルなどの構造の違いについてそれぞれ分離された基準であるのが実情である。上位の共通的な部分の共通化が図られるとよい。

#### H215 複合構造におけるコンクリートの収縮・クリープの影響に関する研究小委員会

活動期間について令和4年3月まで延期し、報告書の執筆を進めているところであることが報告された。

(意見) 名簿の所属が古い方がおられるので修正して欲しい。

#### H216 複合構造物の構造検査と性能評価に関する研究小委員会

幹事会への通読用報告書を作成したことが報告された。

#### H218 FRP 複合構造の設計・維持管理に関する調査研究小委員会 (H218 委員会)

これまでの活動状況および委員構成の変更について報告された。第2期を令和2年9月から2年間として活動を行っているが、新型コロナの関係で1年程度の延期が生じる可能性があり、その場合には必要な手続きを図りたいと説明があった。

#### H219 床版取替における既設合成桁橋の設計・施工技術に関する研究小委員会

最終の小委員会の開催を行い、最終原稿を5/28、脱稿を6/3、講習会を9/16で進めていることが報告された。また、講習会はオンライン+講堂での同時開催を予定していることが説明された。

#### H220 グリーングレーハイブリッドインフラの評価に関する研究小委員会

小委員会の特色として極力対話形式で議論を図りたいと考えているものの、新型コロナの関係で思うように進んでおらず、今後は、定期的にオンラインも利用して議論を図りたいと考えていることが報告された。

小委員会内でグリーンインフラ分野として世界銀行の方に講演をお願いしていることが報告され、複合構造委員会からの参加についても調整を図ることが報告された。その際、窓口を齋藤幹事長とすることとなった。

#### (17) 新規小委員会の設置に関する意見募集

塩畑幹事より、常設を除く複合構造委員会で活動中の小委員会が減ってきており、新規小委員会の設置を幹事会で検討するため、複合構造委員会に対して意見を募ることが説明された。調査票については7月末を期限とし、塩畑幹事まで提出して頂くこととなった。

(意見) 検討すべきテーマに対しての意見を募るだけでなく、人材確保の方法も検討すべき。

(回答) 幹事会で検討する際にそのような観点も含めて検討する。

(意見) 複合構造委員会が他の委員会から引き継いだものや複合構造委員会のこれまでの小委員会報告について、20年など一定のサイクルで継続して見直しが必要な事項があるはずなので検討して頂きたい。

(回答) 頂いた2つの意見を踏まえて検討して参りたい。

#### (18) その他

中村(俊一)顧問から、複合構造委員会の成果を海外に発信する企画を検討する提案がなされた。

(19) 閉会挨拶

牧副委員長より、閉会の挨拶があった。

以上

(記録：塩畑 英俊)